

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

1. 問題例：

机：消しゴムのかすを大量に散乱

椅子：増し締めを定期的実施していない

床：いろいろなものが落ちている

テーブルタップ：コンピュータの電源ケーブルを抜き、携帯を充電。そのときに、電源ケーブルを挿し戻さない

下駄箱：スリッパ散乱

プリンター台：印刷ミス紙が貯まっている

2. 5Sの考え方

・エントロピーの法則：モノゴトは放っておくと必ず無秩序にむかう

・ルールが

守れるように、守りやすいように、守らざるを得ないような方法に改める

・「指示されてする5S」から「自らの意志でする5S」

問題は「動作」を

自分からやったのか、指示されてやったのか

の違いにある。自分で気づき、自分でする

3. 5Sとは：整理・整頓・清掃・清潔・躰

(1) 整理

整理とは、乱れている状態を片付けて秩序ある状態へそろえること。

・必要なものと不必要なものとを区別して

・不必要なものを捨てたうえで

・必要なものだけ秩序ある状態へそろえる

(2) 整頓

整頓とは、散らかり乱れているものを整った状態にすること。

必要なものを必要なときにすぐに取り出して活用できる状態。

中国の史書『史記』 “その兵卒を整頓する”

じっと力を蓄えていつでも戦闘できるように兵隊を訓練すること。

漢字“整”は真っ直ぐにすること。

頓の“屯”は地面を突き破って草の芽が頭をもたげた象形文字からきていて、充実した力を中に含んで突き出る姿を表わす。即ち、整頓とは、整理から一步突っ込んで、

・すぐに取り出せる

・すぐに使える

・すぐにしまえる状態にする

(3) 清掃

清掃とは、ゴミ・汚れ・異物などをなくし、きれいに掃除すること。

・PC、プリンター、床、天井、壁、棚など

(4) 清潔

清潔とは、汚れがなくきれいなこと、

・清掃された状態を保つこと（keep clean）

である。清掃を繰り返すことによって、床もPCも人の心に感動を与えるくらいに。

(5) 躰

躰とは、礼儀作法が良いことをいうが、5Sでは決められたことを正しく守るための

・習慣付け

を行うこと。企業において作業員の躰が悪いのはその管理・監督者が作業員をしつけていないからである。躰は管理・監督者が作業員に行う教育・訓練の結果である。

4. 改善活動の導入としての5S

改善活動を始めようとする、しばしば従業員は批判的になり、協力を得にくい、ところが、5Sに関しては批判は少なく、スムーズに導入しうる。

5. 躰ができる

躰は整理・整頓・清掃などを継続してやることによりできてくる。

腕の良い大工さんは道具がそろっていて、それがピカピカに磨かれており、服装もきりりとした人。大工の棟梁は弟子を一人前にするために、材木の性質・材木の活用の仕方・道具の研ぎ方・道具の保管の仕方、口のきき方・挨拶の仕方などをしつける。棟梁は躰が体にしみこんで、体が自然に動くのを見届けてから弟子を世の中へ送り出す。

6. 5Sの効果

5Sは

- ・だれでもができる。
- ・どんな対象からも始めることができる。
- ・いつでもできる。
- ・行動を起こせばそれに見合った効果が現れる。

一方、5Sをやらない企業・職場では、

- ・問題があっても、それに理由を考えて正当化する。
- ・創意工夫をしない。

5Sができるようになると、

- ・さわやかな気持ちになる。
- ・職場に愛着がわく。
- ・充実感がわく。
- ・満足感がわく。

一方、5Sをやらない企業・職場では、

- ・与えられた仕事だけをする。
- ・さわやかな気持ち・充実感・満足感が少ない。

7. 5Sの実施

(1) 全員で行う

① 計算機室内

- ・PC、プリンター、配線
- ・床、テーブル、椅子
- ・ゴミ箱

② 計算機室外

- ・下駄箱、スリッパ、すのこ、傘立て
- ・教室も全く同じ!!!

(2) 職場の“物”をすべて広場へ出す。

今日、どうしても必要な物・必要な量だけ引き取り、元の場所へ戻す。

次いで今週どうしても必要な物・必要な量だけ引き取り、元の場所へ戻す。

その他は一か所に集めて、保管する。

(3) 改善箇所のリストアップ

改善したい箇所をリストアップする。

(4) 改善

(3)、(4)を繰り返す。

8. 具体的に：毎回の終業時に必ず行ってください

清掃：

- 床にゴミが落ちていませんか。
- 机の上、棚、機械類にホコリがたまっていますか。

整頓：

- PC・什器・スリッパ等を定位置に。
- PC等に不具合はありますか。あれば、TAへ連絡を。
- 椅子のまし締めをしましたか。

清潔

- よごしてしまったら、すぐ清掃する
- 次に使用する人のことを考える